

## 新潟県上越工業用水道事業の紹介

### ○事業の主旨

上越工業用水道は、新潟県の南西部に位置する上越市の一部を給水区域とし、重要港湾直江津港に近接する上越臨海工業地帯の工場群を中心に給水している。

### ○事業の経緯

上越臨海工業地帯は豊富低廉な電力と付近に産出する石灰石資源を背景として、昭和初期から化学肥料、鉄鋼等の工業が発達し、昭和34年頸城ガス田において豊富な構造型ガスが発見されるに及び、これを利用する大工場の新増設が相次ぎ、工業用水の需要が飛躍的に増大した。

当地区の工業用水は、その水源を地下水に依存していたが、年々増加し、地下水位の著しい低下を招く状態となり、地盤沈下対策のため他に水源を求めなければならない状態となり、県では昭和34年末に関川を取水源として昭和35年度から3カ年計画（給水能力120,000m<sup>3</sup>/日）で施工し、昭和37年5月から給水を開始した。

その後、昭和46年度に10,000m<sup>3</sup>/日の増設をし、現在総給水能力は130,000m<sup>3</sup>/日となっている。

なお、配水管や諸設備の老朽化に伴い、昭和56年度から5カ年計画で高速沈殿池の改修、石綿管の鋼管への布設替え等の改築事業を実施し、給水の安定確保に努めている。

また、昭和48年度に汚泥処理施設の建設に着手し、翌年度から機械脱水方式により汚泥処理を行っていたが、脱水装置の老朽化や維持管理費の節減のため、平成9年度から天日乾燥方式による汚泥処理を行っている。

### ○ユーザーの概要

(平成20年12月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
食品	1	1,250
化学	1	40,000
窯業	3	370
金属	3	8,250
電子	1	15,000
その他	5	5,180
官公庁	1	300
合計	15	70,350

### ○施設の概要

上越工業用水道は、関川の河口から約8km上流の上越市上稲田地点にある取水堰堤から取水し、上越利水事務所内の浄水施設まで、管径600mmの導水管で導水している。

浄水施設では、高速凝集沈殿池において処理した水を、配水ポンプにより、上越臨海工業地帯等まで、管径1,350～100mm、総延長約24kmの配水管で配水している。

### ○事業の特徴

給水区域内の県営南部産業団地をはじめとした上越臨海工業地帯は、北東アジア諸国との経済交流の玄関口でもある重要港湾直江津港に隣接し、今後、大規模なLNG火力発電所の建設が進められるなど、発展が期待される地域である。

このうち、北陸自動車道上越ICから車で7分（5km）の好立地環境にある県営南部産業団地内には、機械製造・運輸・卸売業をはじめ多数の企業が進出しており、600坪から利用できる小區画用地やプラタナス並木を配置した緑豊かな環境が整備されている。

### ○新潟県企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.niigata.lg.jp/kigyo/>

(給水区域図：前ページ下に掲載)

給水区域図

